

# クリニック併設の 強みを生かした運営

定員：半日20名	職種：管理者 1名
平均利用数：半日12名	生活相談員 2名
営業日：月～金（年末年始12月30日～1月4日除く）	介護職 8名
営業時間：8：30～17：30	看護師 3名
（サービス提供時間9：00～12：15／13：45～17：00）	機能訓練指導員 3名



## クリニックの認知度・専門性の高いリハビリで、利用者数は順調に増加

### クリニック併設型リハビリ専門デイサービス

東京都大田区にあるリハビリ特化型デイサービス「ファミタウン<sup>せんぞく</sup>洗足」は、地域で80年運営されているクリニック（脳神経外科）の医師と共同で実施しているデイサービスで、3階建ての分院の治験実施医療施設を閉院し、リハビリ特化型デイサービスに切り替え、2016年9月に開所した。医療と介護の多職種連携を重視した、より専門性の高いリハビリサービスを提供している。内覧会や見学・体験会などのイベントを通じて、利用者数は順調に増えている（表）。

クリニック併設のため、突発事項やご利用者の体調変化時などにすぐに医師に確認が取れる体制が整っており、医師からも気になった点に関して事業所へ確認をしてくださるので、日々の連携がスムーズに回れている。また、定期的に医師がデイサービスに様子を見に来られ、ご利用者への声かけが行われるので、ご利用者の安心感につながっている。

### 在宅生活の継続により健康寿命を延ばす

サービス内容は、独立行政法人東京都健康長寿医療センターが監修をする老年症候群の予防を目的とした包括的高齢者運動トレーニング（CGTプログラム）

ラム)によるマシンリハビリ（筋力向上）、レッドコード（体幹トレーニング）、バイクエクササイズ（有酸素運動）を実施。また、認知機能低下予防プログラムであるシナプソロジーをトレーニングメニューとして実施することにより、ご利用者の身体全体の機能改善を目指しサービス提供を行っている。ただ運動をすることだけを目的とするのではなく、在宅生活を継続することにより、健康寿命を延ばすことを真の目的ととらえ、実践している。



3階建てで1階が事務所、2～3階が機能訓練スペース

表 利用者数の推移

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録数	20人	34人	46人	58人	71人	76人	80人	90人	92人	95人	99人
総利用数	49回	114回	179回	224回	255回	312回	361回	369回	426回	441回	410回
売上	25万	63万	92万	123万	150万	180万	195万	210万	250万	240万	235万

このプログラムは、筋力向上トレーニングに参加した高齢者の年齢や身体機能と介入効果との関係が検証され、年齢の影響は小さく、身体機能が低い方への効果が高いことが示されている。

また、介護予防主任運動指導員の資格を有する講師による徹底した社員教育を実施している。介護予防運動指導員<sup>※1</sup>の資格を取得することで、介護技術+リハビリ技術を兼ね備えたスタッフによるクオリティの高いサービスを提供している。

※1 介護予防運動指導員  
介護予防評価学や行動科学、高齢者筋力向上トレーニングなど、16講座31.5時間の講習を受講後、修了試験に合格した者

## 帳票類作成の時間を短縮

ファミタウン洗足は3階建ての分院をデイサービスに改良しており、1階が事務所、2～3階が機能訓練スペースとなり、ご利用者・職員もグループに分かれサービスを提供している。上下階の移動にはエレベーターを使用していることもあり、見守りの目が分散するという実情がある。そのため、現場職員はできる限り帳票類作成に時間を費やさず、直接ご利用者の介助に入ることが必要になる。

そこで採用しているのがIoTを活用しての帳票類管理である。同じ内容をいくつもの書類に手書きで記入する時間を省き、ひとつのツールに記録していけばすべての帳票類に反映されるシステムを採用することで上記課題をクリアしている。職員の残業も減らすことができ、このような時間の管理を職員一人ひとりが意識することで、ご利用者と接する時間をより長く設けることができている。

## デイサービスの休業日に介護予防運動教室を開催

営業面での工夫としては、もちろん居宅介護支援事業所への営業を行っているが、これは施設の周知と地域特性の把握が目的であり、ケアマネジャーと会話をする事で近隣のご利用者の現状を把握することができる。

また居宅への営業とは別に、デイサービスの休業日に一般の65歳以上の方向けに介護予防運動教室

を開催し、「おたっしゃ検診<sup>※2</sup>」を実施している。地域包括支援センターに開催告知を行い、地域高齢者の参加を呼びかけている。介護予防運動教室は4ヶ月1クール、1回1.5時間程度で実施。参加人数は1回10名ほどで、参加された方の中には要支援の方がおられ、そのままデイサービスの利用につながった方もいる。そのほかにも、まだ介護保険の申請をされていなかった方から継続して使いたいとの希望があり、地域包括支援センターへ申請を出し、総合事業として利用を開始された方もいる。地域の高齢者の参加を促し、現段階から健康寿命の重要性を理解していただくことでより積極性を持って参加していただくことができ、利用に結び付いている。

※2 おたっしゃ検診  
年齢を重ねるにつれて、身体的な能力や精神的な機能がある程度低下することはやむを得ない。知らず知らずのうちに心身の衰えが進行していくことにより、日々の「生活の質」が低下してしまう状態を「老年症候群」といい、老年症候群をいち早く発見し、その適切な対策を講じることにより、元気でイキイキとした生活を維持するための新しい検診システムが「おたっしゃ検診」である。身体計測、医学検査（問診・血圧測定、骨密度測定など）、運動機能検査（握力、バランス、歩行速度の測定など）、生活習慣についての面接聞き取り調査、認知機能検査などから構成されている。

## ご利用者の生活機能の向上を

もう1点の集客時効果として、医師との連携が挙げられる。80年以上継続しているクリニックとの共同経営となるため、地域のケアマネジャーの認知度も早期的に上げることができており、飛び込み営業を実施したとしても、すぐに認知していただけるため、集客に結び付けることができている。開所1年での月間売り上げ250万円超えを達成することができ、収支も黒字化している。

来春の介護保険法改正や総合事業の進捗<sup>しんちよく</sup>などにより、施設運営は厳しい状況になってくると思うが、ファミタウン洗足が目指しているゴールはご利用者の「生活機能の向上」を目指したサービスである。地域で信頼してもらえ施設づくりをするため、社内での実技研修や制度研修を行い、全職員がチームとしてご利用者の「生活機能の向上」を目指し対応していく力を付けることがより必要だと感じている。

経